



令和5年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和5年11月30日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



## 1. はじめに

本日ここに、令和5年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、総合病院誘致に係る土地の取得について申し上げます。

本市にとりまして、救急、急性期医療を担う総合病院の立地は、市民の生命と健康を守る上で、長年かつ喫緊の課題であることから、宮城県が推進する仙台医療圏4病院再編にあわせ、いち早く誘致に名乗りをあげたところでございます。令和4年5月に整備候補地として本市明石台地区を宮城県知事に提案し、令和5年2月には県と労働者健康安全機構との間で、東北労災病院と県立精神医療センターを移転・合築して整備する新病院の整備場所を明石台地区を前提として協議する旨の確認書の取り交わしがなされました。

本市といたしましては、これまで、当該用地について、富谷市明石台東土地区画整理組合に病院用地として確保することを依頼してきており、県と労働者健康安全機構との間の基本合意後に、市が用地を取得することを予定しておりました。

なお、取得した用地については、東北労災病院については無償貸与し、県立精神医療センターについては有償譲渡することを予定しております。

しかしながら、当該組合が令和6年度末に解散することとなっているのに対し、基本合意までにはまだ時間を要する見通しとなっている状況にあります。本来であれば、基本合意後に病院用地を取得することと考えておりましたが、取得時期がこれ以上遅れた場合、組合や地権者に経済的な不利益が生じることから、信義則の観点と併せ、これを回避し、かつ、確実に病院用地を確保するためには、令和6年1月に土地売買契約を締結する必要があります。

つきましては、病院立地に不可欠である当該用地の取得に係る関連議案について、本定例会に提案しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

次に、エネルギー・食料品価格等の物価高騰への市の取組について申し上げます。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援といたしまして、住民税非課税世帯等に対する支援金の給付事業を実施いたします。本事業は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面し、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり7万円を支給するものでございます。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

また、物価高騰下における子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、本市独自の施策として、6歳までの未就学児童の保護者を対象に、子ども一人あたり1万円を支給する、「富谷市子育て世帯物価高騰対策緊急支援給付金給付事業」については、10月30日から順次振り込みを行っております。11月27日時点で、2,013世帯2,614名の児童の保護者への給付が完了しております。

同じく本市独自の施策として、障害者手帳所持者を対象に、一人あたり1万円を支給する「富谷市障害者手帳所持者物価高騰対策支援給付金」については、申請受付を11月15日より開始し、順次振り込みを行っております。

また、住民税均等割非課税世帯等を対象に、一世帯あたり3万円を支給する「令和5年度住民税非課税世帯等物価高騰対策支援給付金」については、10月20日で受付が終了し、11月17日までに2,512件の支給を完了いたしました。

「とみや3割増商品券」については、生活者支援及び消費の下支えとして、9月1日から10月31日まで、市内5つの郵便局にご協力をいただき、販売してまいりました。最終的な販売冊数は、昨年より約3,000冊多い3万6,000冊ほどとなったところです。商品券の利用期限は、来年1月31日までとなっておりますが、今回の割増商品券事業により、物価高騰による家計への負担を緩和するとともに、地域経済の活性化に資することを期待しているところです。

## 2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

## (1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

企業誘致関連については、11月9日に、名古屋で開催された「宮城県企業立地セミナー」に参加し、多くの企業の皆様に直接、富谷市への立地の優位性などをPRしてきたところです。

高屋敷西地区については、残りが1区画となっておりますが、この度、すでに立地が決定している株式会社 NTK セラテックの将来の設備投資を見据えて、親会社である日本特殊陶業株式会社が取得することが決定いたしました。このことにより、高屋敷西地区は、すべて完売となりました。今後は、株式会社 NTK セラテック及び日揮ホールディングス株式会社のグループ企業・日本ファインセラミックス株式会社の円滑な立地・稼働に向け、関係機関と連携し、万全の体制で支援を行ってまいります。

また、成田地区への新社屋の建設を進めていた、福祉事業を展開する株式会社 ジュー・シー・アイについては、このほど新社屋が完成し、11月6日より営業を開始しております。今後は、企業立地奨励金等により、しっかりと支援するとともに、福祉分野での事業連携などについても進めてまいりたいと考えております。

このほど、SBI ホールディングス株式会社と台湾の半導体受託生産大手の PSMC が、大衡村の第二仙台北部中核工業団地に半導体工場を建設することが発表されました。事業規模は総額約 8,000 億円とされ、2027 年の生産開始を予定しているとのこと。本市にとりましても、関連企業・サプライヤーの立地のほか、従業員の住居需要、そして個人消費の増加など地域経済への波及効果が期待されることから、県及び関係団体などと連携して対応してまいりたいと考えております。

## (2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

富谷塾については、11月27日時点で178名の方が入塾し、とみぷら及び荷宿を拠点に多様なメニューを通して実践的な学びを深めております。

9月からは、より具体的かつ真剣な創業チャレンジ、既存事業のブラッシュアップを目指す塾生のためのプログラムを展開しており、個々のレベルに応じた個別支援を交えながら起業創業・スタートアップに向けた支援を進めておりま

す。

また、来年1月には、今年度より加入いたしました「スタートアップ都市推進協議会」主催のマッチング・PR イベントである「ジャパンスタートアップセレクション」が東京で開催されます。当イベントにおいて、富谷塾のプログラム等を通じて選定した3名の塾生が富谷塾代表として参加し、全国の大手企業や投資家等に向けて事業PRを行うこととなっております。

経済産業省主催の起業家育成・海外派遣事業については、10月より順次、アメリカ・シリコンバレーへの派遣が開始され、これまでに2名の塾生が参加いたしました。参加者からは、大変貴重な経験となり、起業に向けた決意を新たにしたいとの感想も聞いております。来年2月末までに計12名が派遣される予定となっており、派遣終了後には成果報告会の開催も予定しております。

今後も各種プログラム等を通して、塾生の今後のビジネス創出や事業成長のための多様な支援を展開してまいります。

### (3) 農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

稲作については、東北農政局から今年の作況指数は、県内全域で「105のやや良」と発表がありました。また、令和5年産米の1等米比率は昨年より、約13パーセント減の85パーセントとなり、作柄は「平年並み」となっている状況です。しかしながら、米消費の減少や業務用米の需要低迷が続いており、米価の概算金では、「ひとめぼれ」で、1万2,000円と回復傾向ではあるものの、依然として低価格での推移となっております。また、原油価格や資材の高騰は、農業経営に大きな負担となっており、今後も大変厳しい状況が危惧されるところであります。

米の生産については、引き続き、農協推奨ブランド米である「特別栽培米」を主とした、環境にやさしい安全安心な米づくりを推進するとともに、主食用米に代わる転換作物等への作付け及び農地管理に対する本市独自の支援を継続し、新みやぎ農協あさひな統括事務所と連携を図りながら取り組んでまいります。

農作物有害鳥獣対策については、イノシシ対策として実施している物理柵の設置について、設置を予定していた3地区に、総延長15キロメートルの物理柵設置を進めております。引き続き、地域への侵入防止及び農作物の被害拡大防止

対策の支援を行ってまいります。

#### (4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

「富谷宿街道まつり」については、富谷宿観光交流ステーション・とみやどをメイン会場として10月1日に開催し、パレードや街道ステージ、子どもたちが参加するスタンプラリーや遊び広場など、昨年よりエリアを拡げてしんまち通り全体を活用し、賑わいを創出いたしました。

同日には、「熊野神社例大祭」と「GO!GO!ラリーin東北」が開催され、お神輿の巡行や100台以上のクラシックカーによるイベントも行われました。3つのイベントの相乗効果と晴天にも恵まれたことで、昨年の来場者の2倍以上となる2万1,232人も多くの方にご来場いただきました。

また、前日の9月30日には、スローフードがテーマの「テッラマードレジャパン2023」が、とみやどをメイン会場に開催され、5,632人の方にご来場いただきました。このイベントは、イタリアで開催されております世界最大級の食の祭典「テッラマードレ」の日本版「テッラマードレジャパン」の記念すべき第1回目として開催されたもので、当日は、全国各地の美味しい食品や食に関わる関係者が集まり、食を楽しむ、そして食について考える貴重な機会となりました。

特に富谷茶については「味の箱船」として登録されたことから、後世へつなぐ貴重な食として、引き続き「富谷茶復活プロジェクト」に取り組んでまいります。

2日間にわたり、しんまち地区を会場に大きなイベントを開催し、事故もなく安全にイベントを運営することができました。これもひとえに地元町内会をはじめ、くろかわ商工会、富谷市シルバー人材センター、富谷市社会福祉協議会、そのほか関係団体、事業者の皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

#### (5) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

国の補助金を活用して整備を進めている「市道穀田三ノ関線道路改良工事」及び「市道三ノ関大崎線道路改良工事」については、事業最終年度の工事として、全区間の完成に向け進捗を図ってまいります。

#### (6) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

本市の将来像の確立に向けて都市計画方針を定める、都市計画マスタープラン地域別構想の策定については、第2回ワークショップを10月21日及び28日に、市内4地域で行いました。ご参加いただきました皆様からのご意見を反映し、地域別構想を策定してまいります。

仙塩広域都市計画第8回定期見直しについては、10月に説明会を開催し、適正に手続きを進めております。

#### (7) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

市営墓地については、いよいよ明日12月1日に開所いたします。「やすらぎパークとみや」の墓地区域を先行してオープンするため、開所式には墓地の関係者をお招きして行うこととしております。

来年度にオープン予定のパークゴルフ場開園の際には、「やすらぎパークとみや」全体としての式典を予定しておりますので、議会議員の皆様のご出席方よろしくお願いいたします。

公園関係については、公園施設長寿命化計画に基づく、大亀山森林公園展望台改修工事が、現在順調に進捗しており、来年2月の工事完了を目指し鋭意取り組んでまいります。

また、大亀山森林公園の持続的な魅力向上を目指した「森の公園ツリーハウスプロジェクト」については、10月22日に始動いたしました。宮城大学やボランティアの協力のもと、シンボルツリーハウスの完成に向け、製作ワークショップを展開してまいります。

水道事業については、計画的に実施しております配水管の耐震化や配水池の塗装修繕、今年8月に着手した水道施設の電気・機械設備の更新計画策定は、年度内の完成に向け順調に進捗しております。今後も、施設の計画的な更新や耐震化を推進し、水道水の安全・安心・安定的な供給に努めてまいります。

下水道事業については、昨年度から着手しております老朽化した管路施設の調査及びポンプ場施設の改築計画の見直し業務が、現在、順調に進捗しておりま

す。今後も、重要な社会インフラである下水道施設の適正な管理と長寿命化に努めてまいります。

### 3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### (1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

12 回目を迎える「学校図書館を使った調べる学習コンクール」については、今年も市内小中学校から合計 1,606 点もの素晴らしい作品の応募がありました。11 月 1 日に最終審査を行い、市長賞を含む計 25 作品を全国コンクールに出品したところでございます。

引き続き、日常的な調べる学習の充実を図りながら読書活動を推進し、知る喜びや学ぶ楽しさを実感できるよう「生きる力」の育成に努めてまいります。

#### (2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

4 年ぶりに実施いたしました中学生海外研修派遣事業については、議長はじめ議会議員の皆様、台湾現地の工場見学をさせていただいた日系企業の代表はじめ役員の皆様もお招きし、11 月 6 日に報告会を実施いたしました。4 日間の貴重な体験を通して、多くの学びや気づきを得た生徒たちの大きな成長が実感できる機会となりました。

今後も、国内外で活躍するグローバルな人材の育成に向けて、継続して取り組んでまいります。

次に、学校施設のエアコン設置については、第 3 回定例会でお示したとおり、特別教室への設置を優先的に行うよう検討しているところです。まずは、小学校の特別教室設置に向けて、国庫補助を活用し、できるだけ早い時期での整備に取り組むため、本定例会の補正予算に設計に要する経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願います。



### (3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

富谷市民図書館等複合施設については、予定どおり実施設計を進めているところです。

また、11月18日に第2回目の市民ワークショップを開催し、1回目と同様に市民の皆様から複合施設の使い方やサービスなどについてご意見をいただきました。次回は、来年2月12日に開催を予定しております。引き続き、令和7年度の開館を目指して、整備を鋭意進めてまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

次に、公民館については、4年ぶりとなる公民館まつりをそれぞれの工夫を凝らしながら、公民館サークルや地域の皆様に参加いただき、盛大に開催することができました。当日は、多くの来場者で賑わいを見せておりました。議員の皆様にもお越しいただき感謝申し上げます。

### (4) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

現在整備を進めておりますパークゴルフ場については、管理棟が完成し、現在、管理棟に設置する備品の搬入のほか、芝の養生を行っております。

今後は、パークゴルフ場の公認コースの認定申請など、引き続き令和6年度中のオープンに向けた準備を鋭意進めてまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

### (5) 芸術・文化関連施策について

次に芸術・文化関連施策について申し上げます。

11月25日に開催いたしました、「2023 とみやマーチングフェスティバル」については、とみやマーチングエコーズ、市内小学校金管バンドや鼓響とおのみや太鼓のほか、特別招待団体として、全国大会で日本一を何度も受賞している創価ルネサンスバンガードの皆さんにもご出演いただきました。当日は、午前と午後を合わせて約1,100名の皆さんにご観覧いただき、出場団体の迫力ある素晴らしい演奏・演技が披露され、盛大に開催することができました。

また、11月3日、4日に開催されたマーチングバンド・バトントワーリング東北大会では、一般の部でとみやマーチングエコーズが26年連続27回目、小学生の部で、富ヶ丘小学校が8年連続8回目、成田東小学校が3年ぶり9回目の全国大会出場を決めました。全国大会は12月9日、10日に、さいたまスーパーアリーナで開催され、「音楽のまち マーチングのまち とみや」を代表し、全国の観衆を魅了する発表となるよう、ご期待申し上げますとともに、今後も支援を継続してまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

#### (6) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

18歳までの子ども医療費助成については、10月1日診療分から完全無償化を実施しているところですが、今後、感染症の流行等により医療費が増嵩した場合、当初の予算に不足が生じることが見込まれる状況にあります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

放課後児童クラブについては、子育てと就労等の両立支援の更なる充実を図るため、8か所すべての放課後児童クラブにおいて、冬季休業期間のうち、12月25日から27日までの3日間、注文によるお弁当の提供を試験的に実施いたします。令和6年度からの本格実施に向け、委託事業者と連携して取り組んでまいります。

### 3. 「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### (1) 高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

来年度からの3か年を計画期間とする、「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」については、国の基本指針案に基づき、給付分析等を進めながら将

来推計を見込み、介護保険料の試算を含む、計画素案の取りまとめを行ったところであります。

また、敬老祝い事業については、地域での創意工夫のもと、4年ぶりに敬老のお祝い行事を再開した町内会もあり、高齢者の皆さんにも大変喜んでいただいたところでございます。今後も、地域における顔の見える関係づくりを目指し、高齢者を支える体制構築に取り組んでまいります。

## (2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

健康づくりの推進については、がん治療に伴う外見の変化に対する悩みを低減するための支援として、乳房補正具購入費用の一部助成を開始いたしました。今後も、がん患者の方の社会参加を支援し、療養生活の質の向上、経済的負担の軽減を図ってまいります。

## 4. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

### (1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

防災関連については、10月29日に富谷スポーツセンターを主会場として「富谷市総合防災訓練」を実施いたしました。

町内会からのメールを利用した画像送信訓練と安否確認訓練を実施し、消防団による警鐘巡回や富谷消防署員による負傷者の搬送要領、日赤富谷市地区による非常持ち出し品の展示、女性防火クラブ連合会による炊き出し訓練、避難所でのダンボールベット設営等を行い、安否確認訓練と併せて自助共助の一層の強化につながったと考えております。

消防関連については、今年は記録的な暑さの夏でしたが、一転して寒さが本格化する時期となってきました。

本市消防団では、「秋の火災予防運動」に先立ち、11月5日に開始式を行い、11月9日から15日までの期間中に広報・警鐘巡回活動を行い、火災予防に努め

てまいりました。

## (2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費者保護関連施策について申し上げます。

交通安全関連については、これから本格的な冬を迎え、路面凍結・積雪の時期となってまいりますが、交通安全の啓蒙活動を強化し、交通死亡事故ゼロのまちづくりに向け、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

生活道路の安全対策については、太子堂地区の通り抜け道路におきまして、10月31日から12月1日までの期間、車両の走行速度を抑制させる対策として、国の可搬型ハンプを活用した社会実験を実施しており、また、明石台一丁目地区の通り抜け道路におきましても、12月4日から26日までの期間において実施を予定しております。今後、検証作業を行い、更なる安全安心な道路環境の整備を推進してまいります。

## (3) 省エネルギー・自然エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・自然エネルギー関連施策について申し上げます。

10月1日に開催された富谷宿街道まつりにおいて、とみやゼロカーボンブースを出展し、アンケート調査を行うなど、本市が進めるゼロカーボン施策に対する市民の意向確認、事業周知に努めました。

また、10月29日に開催された富谷市総合防災訓練において、水素燃料電池バス(FCバス)の展示イベントを行い、11月28日には、宮城県が主催する水素燃料電池バス等を用いた災害時活用実証を本市、富谷中央公民館を会場に実施するなど、災害時における活用可能性の紹介や、ゼロカーボンシティ実現に向けた機運醸成を図りました。

この度、「世界首長誓約 日本」の誓約自治体とその首長、事務局が令和5年度気候変動アクション環境大臣大賞受賞を共同受賞いたしました。

環境省では、気候変動対策推進の一環として、顕著な功績のあった個人・団体をたたえるため、「気候変動アクション環境大臣表彰」を行っており、「気候変動の緩和(温室効果ガスの排出抑制対策)」及び「気候変動への適応(気候変動の影響による被害の回避・軽減対策)」に関し顕著な功績があったものと評価され

たものです。本市は令和 4 年度に東北初の自治体として署名しております。今後も引き続き、誓約自治体及び事務局と連携し、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組を進めてまいります。

#### (4) 市民参加・協働関連施策について

次に、市民参加・協働関連施策について申し上げます。

11月20日に実施した、「とみやわくわく子どもミーティング」については、「子どもにやさしいまちづくりについて～私たちがつくる とみやの未来～」をテーマに、市内8小学校の5、6年生14名の皆さんが3つのグループに分かれて意見交換し、それぞれのグループから様々なアイデアや意見を発表していただき大変有意義なミーティングとなりました。

このミーティングについては、富谷高校の生徒の皆さんにも協力いただいたことで、グループの話し合いの円滑な進行につながりました。引き続き、子どもの視点や発想を大事にし、子どもにやさしいまちづくりの推進につなげてまいります。

また、昨日実施いたしました「とみやわくわくミーティング」については、「市民活動について～みんなの活動をよりよくするには～」をテーマとして開催いたしました。次回の「とみやわくわくミーティング」は、「我がまちの地域福祉を考えよう」をテーマに、来年1月下旬に開催する予定としております。

11月21日に実施した、「町内会交流会」については、「町内会のさらなる活性化をめざして～町内会の新たな可能性、一緒に作りませんか？～」をテーマに、市内町内会の運営に携わる皆様53名にご参加いただき、事例発表、パネルディスカッション、ワークショップを行いました。町内会役員の高齢化や担い手不足等の課題について、障害となるものは何か、今後、どんな地域にしていきたいか等の意見交換がなされ、町内会同士の交流の場となりました。引き続き、皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、更なる町内会の活性化を支援していけるよう取り組んでまいります。

(仮称)明石台第十会館については、明石台東土地区画整理組合より、10月16日に市へ寄贈いただき、会館備品についても整備が完了しております。

広報・広聴事業について申し上げます。

現在策定を進めております富谷市地球温暖化対策実行計画の先行的な取組として、広報紙の印刷や配達にかかるCO2排出量を算定・可視化し、相当分をその削減活動などに支援することで、印刷時に排出されるCO2を実質ゼロにする「カーボン・オフセット」を、広報とみや12月号より導入いたします。広報とみやでは、既に環境配慮を重視した「水なし印刷」を導入しており、これに「カーボン・オフセット」を加えた取組は、自治体広報紙としては東北初、全国で3例目となります。この取組を通して、地球環境へ貢献するとともに、市民の皆様が地球温暖化防止活動への普及啓発を図ってまいります。

#### (5) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

11月13日に富谷市総合計画審議会を開催し、「第2次富谷市地方創生総合戦略」の令和4年度における目標値検証を行い、概ね順調な取組であると委員の皆様から評価をいただいたところです。引き続き、戦略期間中における着実な施策の推進に努めてまいります。

11月23日には、とみや市政懇談会を開催し、「住みたくなるまち日本一」を目指す本市のまちづくり全般の現状について報告し、参加者と意見交換を行いました。寄せられたご意見は今後の市政運営に活かしてまいります。

最後に、各民間調査機関発表の自治体評価ランキングについて申し上げます。

11月15日に大東建託株式会社が発表した「住み続けたい街ランキング2023」において、本市は3年連続東北、宮城県第1位となりました。

今年度、これまでに発表されたランキングを含めると、3つの自治体評価ランキングすべてにおいて、宮城県第1位となりました。各データや居住者満足度調査において、いずれも高い評価をいただいたものと受け止めております。

引き続き、本市の将来像「住みたくなるまち日本一」を目指して、まちづくりに取り組んでまいります。

以上、令和5年第4回富谷市議会定例会の開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

